

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
※文章と図等を組み合わせた作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名：

東京都 八王子市立四谷中学校

活動名：民主的學校への多様性受容～特別支援教育経営を理念として～

解決すべき課題：東京都学力向上テストなどの学力調査では、平均値から-15 ポイント程度の学力の学校であり、一部生徒による暴力的な行動によるスクールカーストが横行し、学校での授業や生徒活動上の安全安心を保障できないという課題があった。

目標・方針：民主主義社会の担い手を育成することを教育理念として、民主的な理念を理解した生徒たちによる自治的活動を主軸とした学校文化の礎石を創り上げることを目標にし、学校に関わる全ての人々が互いの人権や個性を尊重し多様な価値観を容認し合える環境を醸成することと学校経営とは一人一人の行動により成り立っているという意識をもって学校という組織の一員となることを方針として据えた。

活動内容：ユニバーサルデザインを取り入れた学校経営計画を作成した。学校たよりを利用して学校に関わる全ての人への人権感覚や民主主義への思索を高めることを目指した。生徒の熟考する姿勢を醸成するために自己内対話を全校朝礼で実施した。一人一人の特性を理解し、生徒の特性を伸ばすために校内委員会を学校組織の中枢に位置付け、特別支援教育コーディネーターによる学校経営参画システムを構築した。教員自身で自分の価値観や教育観を広げる必要性に気付いたり、新しい教育方法に取り組もうとしたりする意欲を萌芽させるようにアクティブラーニング形式での校内研修を企画して、若手教員を中心として主体的、継続的に教育について思索していこうとする教員体制を作った。地域の人による学校経営への参画システムを構築し多様な人材による学校経営の基盤の一角を担うことを目指した組織作り。LGBT や教育社会学や応用行動心理学への専門知識を高め、専門的な知見を得るための研修の設定。中学校校区単位の小中教員が共通した知見で教育社会学の視点からいじめについて考える研修の設定や特別支援教育や不登校生徒の家庭に潜む課題への学校関係者チームによる課題解決方法への組織的取組。

活動の成果：わかりやすい学校経営計画と学校たよりにより保護者からの教育委員会への苦情が激減したとの教育委員会からの評価を得た。2 年目は 1 件であった。生徒の自治活動も生徒会活動を中心に行えるようになり、女子の制服としてのズボンの導入や全校生徒による Dr.肥沼氏への命日に向けた千羽鶴への八王子市市長への謹呈の実施ができた。自己内対話も定着し、生徒から「何か困ったらおなかに聞くこと」とか「自己内対話のおかげで自分の目標を作り努力できるようになりました」とか「朝会や集会で自己内対話などをして今後どのように過ごせばよいか分かりました」との感想を得られた。ユニバーサルデザインの授業作成への四谷中学校版を作成し保護者に配布した。授業も 20 分を一つの区切りとした形態で授業の終わりには今日学んだことを生徒の目線で確認するという授業スタイルが定着した。生徒の特性を生かした授業スタイルへのアップデートを巡回指導相談員と特別支援教育コーディネーターとの目線から全校職員や保護者に発信できるようになった。2 年間で生徒の進学率が劇的に向上した。一年目は近くの都立学校への進学が 10 名程度のみであり、学力不足を自認しフリースクールや就職を選択した生徒の傾向があったが、二年目には、東京都立高等学校の推薦入試において 50%の合格率を叩き出した。さらに、過去 6 年間で、自校式作成高等学校への進学が無かった学校で 2 名が合格し、特別支援学級への進学が望ましいと就学相談で診断を得た生徒 2 名が都立学校に進学した。すべての生徒が工業や商業などの多様な都立学校を受

験したりやデザイナーや調理師を目指し専門学校を選択した生徒や起業家を目指した生徒など自分の将来像に希望を持って進路選択を行える学校文化をみる事ができた。

アピールポイント（アイデアや工夫）：各分掌主任との協働による学校経営計画の作成。ユニバーサルデザインによる学校経営方針の提示。若手教員を中心としたアクティブラーニングによる研修会によりベテラン教員が若手教員の指導方法を学ぶ体制の実現。全校生徒一体となる自己内対話の体験活動と毎時間の学んだことや話し合いシステム導入による自己表現の受容体験活動による明確な将来像の輪郭形成。地域運営学校を活用した多様な地域人材による学校開放に向けた学校カフェスタイルの試行。

【学校経営計画】



全職員で自分の所属する分掌目標を話し合い学校経営方針として設定した。

ユニバーサルデザインの発想で重点目標が学校関係者全員に浸透するよう焦点化、視覚化した。

【学校経営方針】



【学校たより】

学校に関わる人々への民主主義教育を通して自治能力の萌芽を生み、生徒会中心とした生徒の主体的活動を生み出す。さらに地域人材による様々な主体的活動を生み出し、学校教育の柱の一つとする。

